

P F I 手法による新設刑務所について

官民協働による運営

矯正教育, 職業訓練の充実



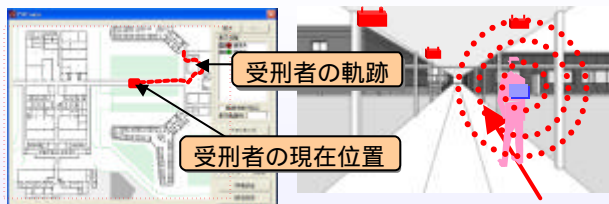
- ・点字翻訳作業
- ・介護技能者養成
- ・農園芸技術者養成
- ・高度なパソコン技術習得

・海外の教育プログラムの導入

臨床心理士, ソーシャルワーカー,
地域のボランティアも参画

効率的 効果的な警備

- ・ I C タグによる位置情報把握



- ・遠隔操作可能な電子錠



- ・効率的運営が可能な施設の構造

民間のノウハウを積極的に活用

地域との共生

地域に開かれた環境整備



- ・外塀, 鉄格子に代わる保安機能導入
- ・広場, 構内道路の市民開放

地元資源の有効活用

- ・食材, 物資の地元調達

市立病院に診療所を管理委託



婦人科診療所を市民にも開放

業務の大幅な民間委託

- ・施設の警備, 処遇の一部も含め民間委託
- ・職員ポストの約半数が民間人

~構造改革特区制度の活用~
地域雇用の増大

美祿社会復帰促進センター

事業予定地 山口県美祿市



50数箇所の誘致自治体の中から選定

国民に理解され, 支えられる刑務所



P F I 事業者 美祿セコムグループ

セコム, 清水建設, 竹中工務店, 新日本製鐵
日立製作所, 小学館プロダクション,
ニチイ学館, U F J 銀行 ほか

男女初犯受刑者 1, 0 0 0 名収容

落札金額 約 4 9 3 億円
(契約金額 約 5 1 7 億円)

事業期間 2 0 年

平成 1 9 年 4 月収容開始

国庫債務負担行為
限度額との差
約 4 8 億円
約 8 . 5 % の削減